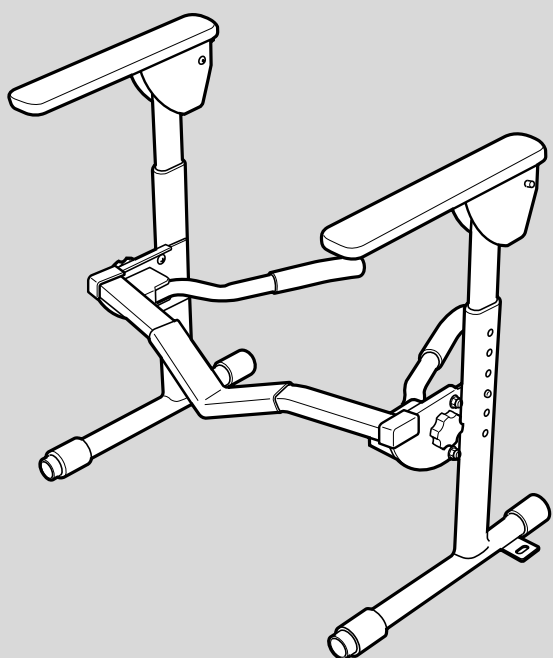
大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

洋式トイレ用フレーム S-はねあげ 取扱説明書

このたびは洋式トイレ用フレーム
S-はねあげをお求めいただきまして、
まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に
必ずお読みください。

もくじ

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意 （必ずお守りください）

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

警告

改造はしないこと
また、分解したり修理をしないこと
正常にはたらかず、けがの原因になります。

肘掛けの上に乗ったりぶら下がらないこと
肘掛けが破損し、けがの原因になります。

注意

ナットにゆるみがないか、定期的に点検すること
ゆるみがある場合には、使用を中止し、ナットのゆるみがないよう増締めすること
ゆるんだまま使用すると、不安定になりけがの原因になります。

便器が床にしっかりと固定されていることを確認すること
便器が固定されていないと、不安定になりけがの原因になります。

使用者が用便などの際、自分自身の身体を十分に安定させられないときは、介助者が必ず付き添うこと

各部の調節（高さ調節など）については販売店かケアマネージャーなど専門家に相談すること

肘掛け高さ調節ピンが確実に飛び出して、肘掛けが固定されていることを必ず確認すること
ピンが押し込まれた状態では、肘掛けは固定されません。転倒し、けがの原因になります。

洋式トイレ用フレームS-はねあげは、必ず便器に固定して使用すること
転倒しけがの原因になります。

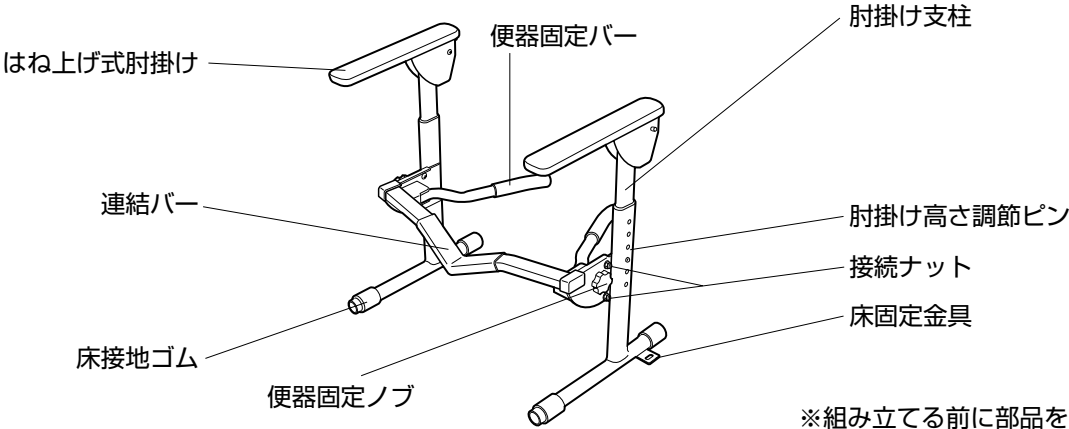
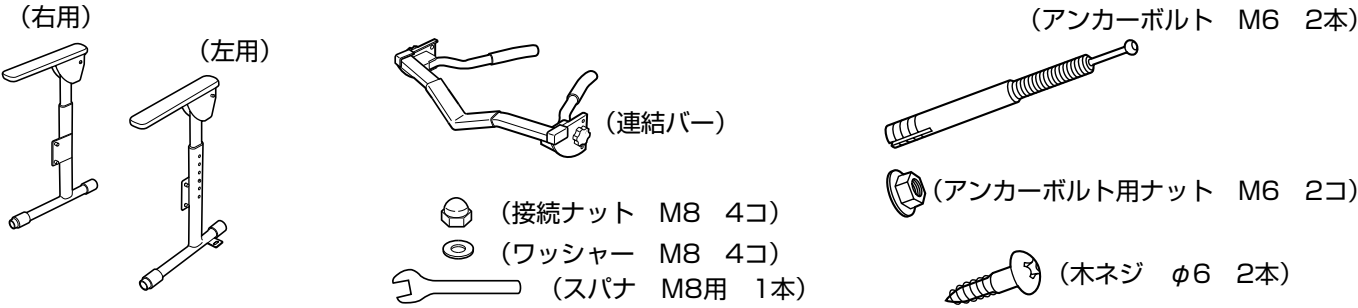
特に下肢の弱い方（膝関節症やリウマチ等）や片マヒの方は、安心して使えるよう床固定金具を床面に固定すること

体重が100kg以上の方は使用しないこと
本体が破損する恐れがあります。

肘掛けをはね上げたり、元にもどすときは、回転部や回転部のすきまに手や指をそえないこと
手や指をはさみ、けがの原因になります。

各部の名前と同梱部品

各部のなまえ

※組み立てる前に部品をご確認ください。

部　品

■仕様

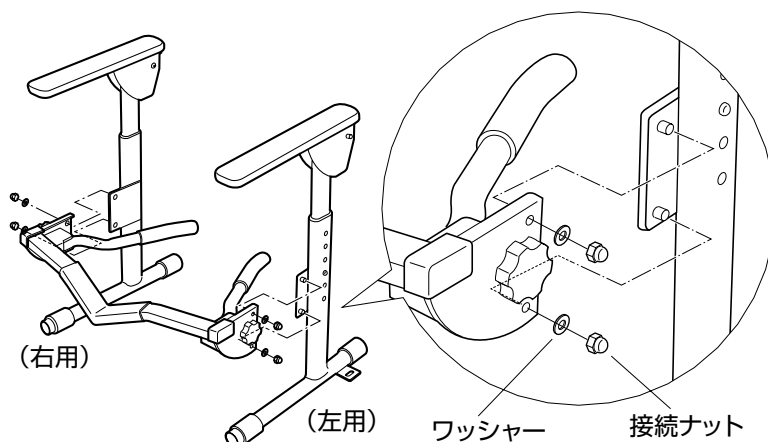
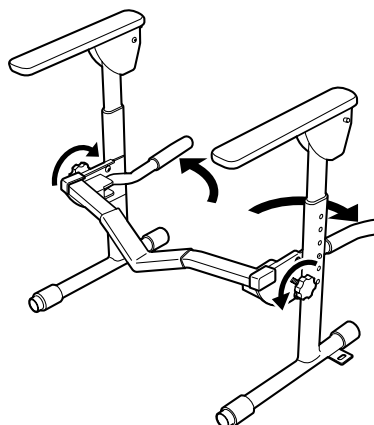
品名	洋式トイレ用フレームS-はねあげ	
構成部材	部　品　名	材　　質
	フレーム	スチール（エポキシ系粉体塗装）
	便器固定ノブ	ナイロン／ステンレス鋼
	便器固定ノブ受け	ステンレス鋼
	肘掛け	天然木（タモ材）
	便器固定バーカバー・床接地ゴム	エラストマー
	連結バーカバー	塩化ビニル樹脂
サイズ	幅64×奥行50×高さ55～70cm 肘掛け高さ55・58・61・64・67・70cm（6段階）	
重量	約9.5kg	

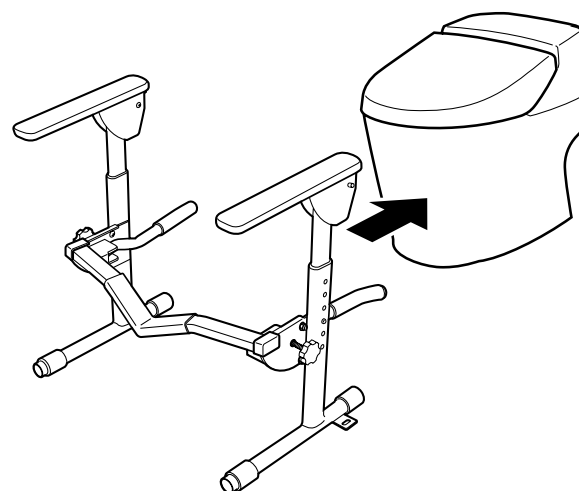
特長

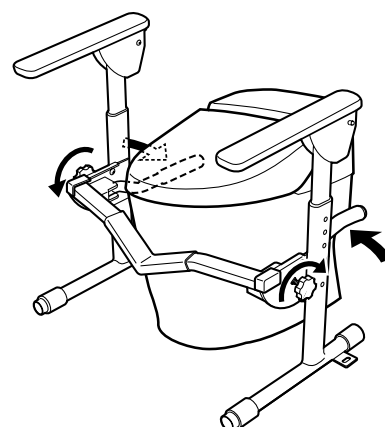
●組み立ててからトイレに運び込めるので、取り付けは簡単です。
●取り付けはノブボルトを調整するだけで、施工作業や工具を使用する必要がありません。
●ほとんどの洋式トイレに取り付けることができます。
●はね上げ式肘掛けで、横方向への移乗や介助が、楽にできます。
●肘掛けの高さは、6段階（床から55・58・61・64・67・70ｃｍ）に調節可能。
●肘掛けの高さ調節は、ピンを押して一段ずつ簡単に調節できます。
●肘掛けは握りやすい形状の天然木です。

取り付け方法

1 フレームを組み立てる

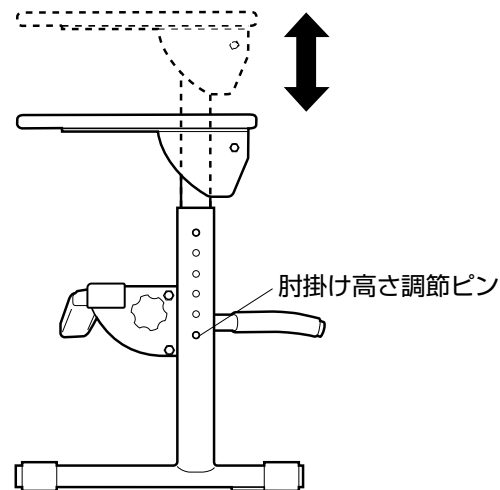
肘掛けは右用と左用を間違えないように取り付けてください。
片側の肘掛けに連結バーを取り付け、ワッシャーと接続ナットで固定します。
同様にもう片側の肘掛けを取り付けます。

2 便器固定ノブを反時計回りに回し、便器固定バーを最大限に開いておく

3 トイレ室内へ搬入して、洋式トイレの正面から取り付ける

連結パイプが便器の先端に接触するように取り付け、床接地ゴムが床に確実に接地していることを確認してください。

4 左右の便器固定ノブを時計回りに回し、便器固定バーが便器を確実に固定するまで、締め付ける

便器固定ノブは、工具を使用して締め付けないでください。破損の原因になります。十分締め付けた後、両側の肘掛けをゆすって、ガタツキが無いことを確認してください。

取り付け方法

5 肘掛け高さは、6段階（55・58・61・64・67・70ｃｍ）に調節できます

調節は、肘掛け支柱の肘掛け高さ調節ピンを押しながら、肘掛けを上へ引いたり、下へ押してください。肘掛け調節ピンがカチッという音がして飛び出せば、固定完了です。

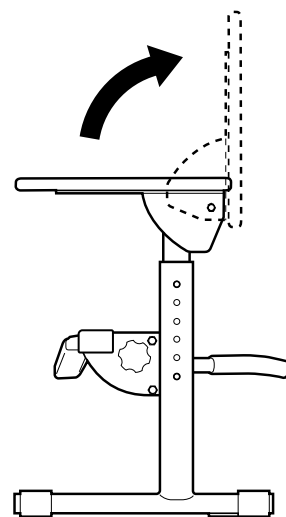
注意

肘掛けの高さ調節を行うときは、必ず肘掛けを持つこと
スライド部分を握って肘掛けを低くすると、スライド部の隙間で皮膚をはさみ、けがの原因になります。

注意

肘掛け高さ調節ピンが確実に飛び出して、肘掛けが固定されていることを必ず確認すること
ピンが押し込まれた状態では、肘掛けは固定されません。
転倒し、けがの原因になります。

6 肘掛けは、片手で簡単にはね上げることができます

肘掛けの先端をもち、上へもち上げると、肘掛けをはね上げることができます。
元にもどすときは、肘掛けの先端をもち、ゆっくりと肘掛けを下げてください。

注意

肘掛けをはね上げたり、元にもどすときは、回転部や回転部のすきまに手や指をそえないこと
手や指をはさみ、けがの原因になります。

以上の作業で取り付けは完了ですが、完全に床に固定してしまいたい場合は、5ページの床固定方法の要領で施工してください。

取り付け方法

床固定方法

洋式トイレ用フレームS-はねあげは、独自の固定方法により、便器にしっかり固定できますが、更にフレームをしっかり固定することができ、フレーム本体の回り止めを兼ねて床固定金具を付けております。

1 施工される業者の方へ

施工される前に、この説明書をよく読んでから、施工に取り掛かってください。

2 部品と必要な工具

〔部品〕

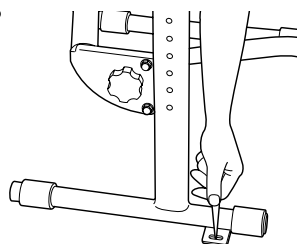
●アンカーボルト（M6）・・・・・・・・・・・・ 2本
●アンカーボルト用ナット（M6）・・・・ 2個
●木ねじ（φ6）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2本

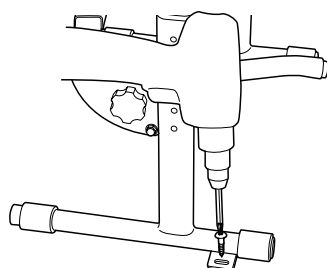
〔工具〕

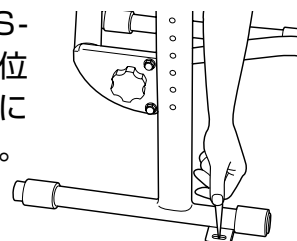
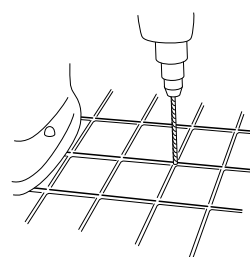
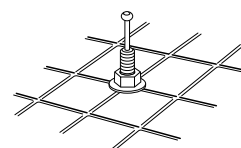
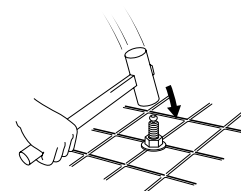
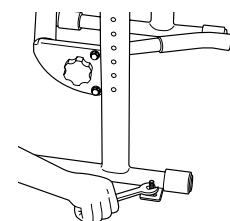
●電気ドリル（床がコンクリートの場合は
ハンマードリル）
●ハンマー（床がコンクリートの場合）
●プラスドライバー（＋3ビット）
●スパナ（二面幅10mm）

3 手順

床が木の場合

①洋式トイレ用フレームS-はねあげの床固定用穴の位置を決め、穴の中心部分に合わせて床に印をつける。

②印をつけた床に、木工用ドリルでφ3の下穴をあけてください。

③床固定金具を添付の木ねじで固定してください。

床がコンクリート あるいはタイル貼りの場合

①洋式トイレ用フレームS-はねあげの床固定用穴の位置を決め、穴の中心部分に合わせて床に印をつける。

②一旦洋式トイレ用フレームを便器から外し、床につけた印の部分に、コンクリートドリルでφ6.5mm、深さ30～35mmの穴をあけます。（床がタイル貼りの場合、タイルが破損するおそれがあります。必ずタイルとタイルの間の目地の部分に穴をあけるようにしてください。）

③アンカーボルトにアンカーボルト用ナットを取り付け、②で開けた穴にアンカーボルトの埋設部分（端面が4つに割れている方）を差し込みます。ここで、穴の深さが30mm以上ある場合、ナットから突出するねじ部分の高さを調節することができます。ナットを仕上がり寸法より約2mm深く差し込んでください。

④アンカーボルトの頂点に突出しているピンをハンマーで叩き込み、アンカーボルトを固定して、ナットを取り外します。

⑤洋式トイレ用フレームを取り付け、最後にアンカーボルトに合わせ、ナットで締めつけて固定してください。

お手入れの方法

●中性洗剤のうすめた液をスポンジかやわらかい布に含ませ、汚れを取った後、乾いた布で空ふきしてください。

注意

※たわしや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと

※塩素系洗剤・酸・アルカリ性洗剤・シンナー・クレゾール等は絶対に使用しないこと

塗装がはげたり、本体がさびたり、プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

※肘掛けの高さ調節ピンの穴から水を入れないこと

内部がさびて破損の原因になります。

●肘掛けは天然木を使用しているため、色や木目が左右で異なる場合がありますのでご了承ください。